

特集

第12回通常総代会



J Aは第12回通常総代会を5月22日、S W S東日本シビックホール一関（一関文化センター）大ホールで開催しました。令和8年度は、第5次中期経営計画実践の初年度として、改めて協同組合の価値と存在意義を見つめ直し、J Aがこれまで果たし、支えてきた地域農業、地域社会での機能と役割を再認識しながら、第5次中期経営計画で掲げた最重要施策「農家組合員の所得増大と農業生産の拡大」、「地域の活性化と結びつきの強化」、「組合員に評価される組合経営」、「要望に、的確かつ迅速に対応できる人材育成」を図ることを狙いとし、さらなる経営基盤強化に向けた取り組みの展開により計画の実現に努めると共に、新時代に対応しながら、地域農業を次世代にしっかりと引き継いでいくために、食料の安定供給、地域農業・農村の保全維持、J A経営基盤の確立に取り組んでまいります。

農業・J Aを取り巻く環境は、加速する高齢化・人口減少による農業者の担い手不足、耕作放棄地の増加などの影響が続いている状況に加え、燃料や肥料・飼料など農業資材の価格高騰で生産現場では大変な厳しさが続いています。

合併12年目となる令和7年度は、第4次中期経営計画の最終年度で、最重要施策の実現を目指し取り組んできました。

佐藤一則組合長は総代会にあたり「昨夏、猛威を振るった高温渇水に負けずに農産物の収量を確保できたことや、共済事業で推進目標を達成できたことなどにより、事業利益2億8198万円と3年ぶりに黒字決算で締めくくることができ



あいさつする佐藤組合長

た」と振り返り、「今後も地域や組合員のための自己改革に取り組み、魅力ある総合事業の展開で安定した経営基盤を確立し、皆さんから必要とされる、頼りにされるJ Aであり続けられるよう、役員一丸となり事業を進めていく」とあいさつしました。

報告事項

「JAバンク基本方針」の変更

決議された議案

総代数513人、出席総代数449人（本人出席201人、委任状出席0人、議決権行使書面提出248人）

第1号議案 宅地等供給事業実施規程の変更

第2号議案 令和7年度事業報告及び
剰余金処分案の承認

（報告）令和7年度貸借対照表、損益
計算書、注記表及び附属明細書

第3号議案 第5次中期経営計画の設定

第4号議案 令和8年度事業計画の設定

第5号議案 令和8年度経費の賦課及び徴収方法
の決定

第6号議案 令和8年度理事に支払う報酬の額の
決定

第7号議案 令和8年度監事に支払う報酬の額の
決定

第8号議案 役員を選任

附帯決議

この通常総会において決議した事項で、行政庁の指示等により修正変更を必要とするときは、決議の趣旨に反しない範囲において、その取扱いを理事会に一任することの決議を求めます。

令和7年度事業の成果

剰余金処分の概要	
(単位：円)	
1. 当期末処分剰余金	96,028,273
2. 任意積立金取崩額	1,783,400
(1) 固定資産圧縮積立金	1,783,400
計	97,811,673
3. 剰余金処分額	72,000,000
(1) 利益準備金	12,000,000
(2) 任意積立金	60,000,000
4. 次期繰越剰余金	25,811,673

収支の状況	
(単位：千円)	
事業総利益	2,347,994
事業管理費	2,066,009
事業利益	281,985
当期剰余金	56,663

単体自己資本比率 12.84%
不良債権比率 1.43%

資産の状況	
(単位：千円)	
資産の部合計	158,181,877
負債の部合計	154,360,277
純資産の部合計	3,821,599

※ 掲載金額は、千円未満を切り捨てて表示していますので、合計金額はその内訳金額の合計と必ずしも一致するものではありません。

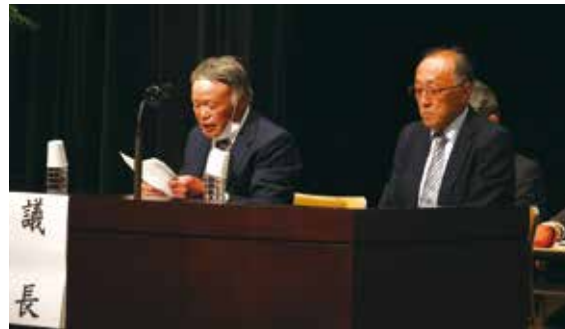
主な質問と意見要望

Q 昨年度は議場閉鎖の上で、投票により採決した議案があったが、今回はそのような方法で採決するものがない。どのような基準に従って採決の方法を使い分けられているのか。

A 前回の第1号議案「定款の一部変更」は特別決議のため、議場閉鎖をして投票という形になりました。

Q 一関カンントリーエレベーターで発生した乾燥不良米について、生産者に対してどのような補償をするのか。

A 乾燥が正常に行われた他の米と同じ金額で精算いたします。乾燥不良米になつてしまった分の精算金が安くなるということはありません。生産者の皆さんに対し等しく精算いたします。



議長を務めた村上政一氏[㊞]と佐藤克朗氏

Q J Aは販売先を市場に頼り過ぎている。J Aは多岐にわたる販路を持っていないから、その力を活用して販路を開拓しないと、今後、農産物の販売単価が下落したときに立ち行かなくなる。これから変わっていかねばならないのではないか。

A J Aも変化していかなければなりません。組合員の皆さんの声を大事にしながら、今後どのように進めるか考えたいと思います。

Q 生産資材の購入量によって単価が変動するのはおかしいのではないか。これでは個人農家を軽視しているように感じる。

A 水稻の農薬や肥料は、大口購入先への直送やロット購入の奨励などで価格を優遇している部分はありますが、あくまで数量を基準としています。



活発な意見が交わされました



多くの要望も出されました

Q 一日人間ドック・専門ドックについて、昨年度までは支店窓口で支払いができたが、今年度からできなくなった。どうしてか。

A 昨今のキャッシュレス化に伴うものであり、今年度は一関地区で現金支払いの受け付けを終了させていただきました。



全ての議案が承認されました

主な要望

- ・議案の中で、変更内容だけを資料に掲載して是非を問うのはいかがなものか。変更箇所の前後も掲載してほしい。
- ・総代会で出た意見要望はしっかり受け止めて、これからのJ A運営に生かしてほしい。J A綱領の「安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう」という文言は素晴らしく涙が出る思いだ。ぜひ協同組合運動の先頭に立ち、国や政治に立ち向かえるJ Aであってほしい。

役員を選任

第8号議案において、実務精通役員として理事1名が選任され、総代会後に開催された臨時理事会で常務理事に選任されました。



常務理事
(管理・コンプライアンス・監査)

千田 光柳
(千厩町小梨)



総代会資料は、J Aいわて平泉ホームページに掲載しています。

令和8年度事業計画

令和8年度は、第5次中期経営計画実践の初年度として、営農・生活のあらゆる場面で、組合員、地域の皆さまとともにJAの持てる組織力、結集力、総合力を発揮し、地域農業・農村の抱える課題の解決を進めながら、地域農業の振興と暮らしやすい地域づくりに向け取り組んでまいります。

1 食料・農業基盤の確立

～農家組合員の所得増大と農業生産の拡大～

消費者の信頼に応え、安全・安心な農畜産物を供給する持続し続けるいわて平泉農業の確立に向け、「黄金の郷づくり」を通じて担い手の育成と組合員の農業所得確保・増大に取り組めます。

2 地域・組織・事業基盤の確立

～地域の活性化と結びつきの強化～

食と農を基軸に、総合事業を通じて地域の生活インフラの一翼を担い、地域に根ざした協同組合の確立とくらしの活動の展開で地域との結びつきの強化に取り組めます。

3 健全・強固な経営基盤の確立

～組合員に評価される組合経営～

自ら取り組むJA改革の推進と組合員・地域住民との結びつきを深め、財務基盤の強化と健全な経営基盤の確立で、信頼される協同組合としての存立に取り組めます。

4 協同組合運動を担う人づくり

～要望に、的確かつ迅速に対応できる人材育成～

協同組合運動の担い手として、変化を恐れず挑戦し、自己啓発や相互研さんを基盤に、最後までやりきる人材の育成に取り組む、信頼される協同組合の実現に取り組めます。

組合員等被表彰者

(敬称略)

特別功労者

・退任生産部会長

千葉 昭義 花泉町永井
千葉 秀一 千厩町千厩

・退任農家組合長

千葉 幹雄	一関市末広
鈴木 守	大東町大原
千葉 正一	一関市山目
小野寺 勇	花泉町花泉
千葉 哲男	一関市赤荻
芦 廣幸	大東町渋民
熊谷 良二	一関市真柴
菅原 貞雄	一関市新町
八巻 徹	藤沢町藤沢
菊地 正司	藤沢町藤沢
皆川 保寿	藤沢町藤沢
小山 順一	藤沢町藤沢

優良農家組合長

(退任農家組合長)

小野寺 照彦 大東町沖田

